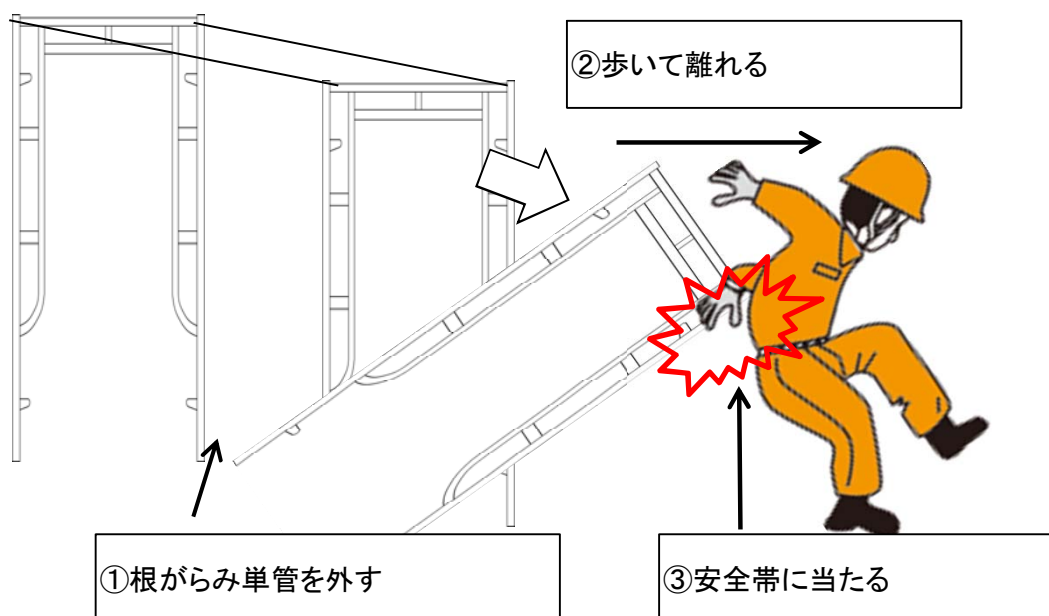


## 『解体作業中、倒れた建枠が腰の背側に当たり骨折』

発 生 年 月 平成 年7月  
時 刻 10:40 頃  
被 災 者 とび(27歳)  
傷 病 名・部 位 第12胸椎・第1腰椎破裂骨折 (休業14日)

- ◎ 発生状況
1. 建設工事で棚足場(鋼型枠)の解体作業及び搬出作業を開始した。最後の1層目枠組足場のブレスを外した後、根がらみ単管を外し、後ろ向きで移動直後、倒れてきた建枠が腰の背側に当たり転倒し、尻もちをついた。
  2. 被災者はその後、体の違和感から受傷の恐れを報告し、受診の結果、圧迫骨折と判明しコルセットによる固定治療が必要と診断された。

◎ 被災状況



◎ コメント

- ・作業の危険把握不足、感受性の不足、安全意識が低い。
- ・作業手順の誤り(ブレスを先に外していた) — 再教育と手順の遵守。
- ・枠組足場解体作業を一人で行ったこと — 適正な人員の確保配置。
- ・作業場内の整理整頓を励行する。